

平群

Heguri



≡議会だより 6月定例会

No.267

平成30年8月1日

発行:奈良県平群町議会

第4回定例会(6月)

議決結果	2
質疑あれこれ	3~6
議員提出議案／同意案件	6
文教厚生委員長報告	7
町政を問う! 一般質問	8~13
町の話題	14

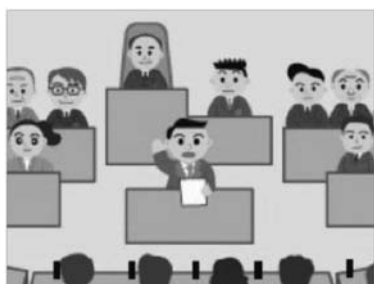


サーキットで身体づくり



みんなおいでよ!!ハムスターズファミリー (7月11日 プリズムへぐり)

第4回定例会 こんなことが決まりました



第4回定例会は6月5日～15日まで11日間の会期で開かれました。初日は、町長提出の10案件と議員発議1件が上程され審議しました。このうち、町長提出の10案件は即決し、議員発議の国民健康保険税条例改正議案は文教厚生委員会に付託して、7日に審議しました。

一般質問は12、13日に行い、11名の議員が様々な町政課題について質問・提言しました。

最終日は、文教厚生委員会の審査結果報告をつけ採決を行いました。

議決結果賛否一覧

○賛成 ●反対（議長は、可否同数のとき議案の可否を決定します）

提出区分	議案名	議決結果	山本隆史	城内敏之	井戸太郎	稲月敏子	植田いづみ	山口昌亮	山田仁樹	高幣幸生	窪中和子	下中一郎	馬本隆夫	森田勝
町長提出議案	専決処分の承認を求めることについて （平成30年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）について）	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町ひとり親家庭等医療費助成条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成30年度平群町一般会計補正予算（第2号）について	原案可決	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	
	平成30年度平群町用地先行取得事業特別会計補正予算（第1号）について	原案可決	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	
	公平委員会委員の選任に同意を求めることについて	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
出議員提案	平群町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	否決	●	●	○	○	○	○	○	●	●	●	●	

議長は採決に加わりません

質疑あれこれ

6月議会に上程された議案及び
質疑を紹介します。

質問 昨年度単年度400万円
余の黒字になった要因は。

答弁 この事業における国の償
還推進助成制度（未償還額にかか
る補助金）を活用して763万円
の収入を得たこと。

町税条例の一部改正

地方税法改正に伴うもので、生
産性向上特別措置法の規定により
市町村が主体的に作成した計画に
基づいて行われた中小企業の一
定の設備投資については固定資産税
（償却資産）を3年間でゼロにする
もの。

主な質疑

質問 特例措置の対象者と税収
への影響額、施行日、周知方法と
今後のスケジュールは。

答弁 対象者は資本金1億円以
下の法人、または従業員1000
人以下の個人事業主の中小企業
者。影響額は、例えば設備投資1
000万円、耐用年数10年な
ら、3年間で34万3500円の
固定資産税がゼロになるが、減収
分の75%は交付税算入がある。施
行日は6月12日頃。周知につい

質問 昨年度末時点での償還残
高、滞納額、返済終了人数はどう
なっているのか。

答弁 償還残高は1490万
円、滞納は元金で8000万
円、返済終了者は208人中1
82人。



ては、町の7月広報誌、ホーム
ページへの掲載と、チラシを作成
して商工会を通じて会員への周知
を図る。今後のスケジュールは6
月中に導入促進計画を定め、7月
下旬頃に国の同意を得たあと、認
定申請の受付を行っていく予定。

質問 これまでに町内業者から
の問い合わせは。また、固定資産
税をゼロで取り組む自治体には
――補助金等が優先的に受けられ
ると聞けがどうか。

答弁 問い合わせは2件。優先
採択は、ものづくり商業サービス
経営力向上支援事業など4点の補
助メニューがある。

放課後児童健全育成事業 の設備及び運営の基準に 関する条例の一部改正

国の基準の一部を改正する省令
の施行に伴うもので、放課後児童
支援員の資格要件の一部を見直す
もの。

主な質疑

質問 町内の学童保育指導員の
現状はどうかになっているのか。

答弁 17名の指導員のうち11
名が資格を取得している。今年
度、3名が支援員講習を受講する
計画になっている。

ひとり親家庭等医療費助 成条例の一部改正

所得税法の改正に伴い、「控除
対象配偶者」を「同一生計配偶
者」に用語を変更するもの。

主な質疑

質問 現在の対象世帯数は。

答弁 平成28年度実績での利用
世帯は137世帯。



心身障害者医療費助成条 例の一部改正

所得税法の改正に伴い、「控除
対象配偶者」を「同一生計配偶
者」に用語を変更するもの。

家庭的保育事業等の設備 及び運営に関する基準を 定める条例の一部改正

国の基準の一部を改正する省令
の施行により、代替保育の例外規
定、食事の提供の特例における搬
入施設の追加、食事の提供の経過
施設の例外規定が設けられたこと
から、それらを追加するもの。

介護保険条例の一部改正

介護保険法施行令の一部改正に
伴い、介護保険の自己負担割合の
判定に用いる合計所得金額の控除
の規定が改正されるためのもの。
8月1日施行。

次頁へ続く

平成30年度一般会計補正予算

補正総額は9億4433万6千円。歳出では、用地先行取得特別会計への繰入金5850万円（庁舎用地取得費1億9500万円の起債が充当されない30%分）、地方公共団体情報システム機構負担金203万円、老人福祉施設措置費240万円、平群小学校の用地購入費6億9211万円、一時借入金利子240万円を増額。

歳入では、駅周事業の清算交付金5億7011万円、平群小学校用地購入の起債6億2320万円、老人保護措置費負担金102万6千円を増額し、雑入その他の未確定財源を2億5000万円減額。歳入超過分1億8435万1千円は財政調整基金に積み立て、収支の均衡をはかるもの。

主な質疑

質問 一時借入金利子が240万円増額で360万円になるが、金額と月数の想定額は。

答弁 事業にかかる支払時期と地方債の発行時期にタイムラ

グがあることから、つなぎ資金として一時借入をする。現在の想定は未確定部分が多いが、マックスの想定で、7月頃に12億円、12月頃に15億円、2、3月頃に3億円程度と見込んでおり、利払いは360万円の予算内で賄える。

質問 今回の補正は、駅周事業に関わって、小学校用地として4月臨時議会の補正と合わせて9億円近い額の用地を90%借金（約8億円）で購入。このことで駅周事業内の町有地が超過となり、清算金を支払うのではなく、もう側になる。それが5億7000万円。一方、用地購入の1割、9000万円は一般財源で支出する。その差額の4億8000万円が今年度町の歳入の財源になる。その結果、今

年度の当初予算で4億8000万円あった未確定財源が基本的にはこれで全部消えるということになる。要するに、借金で赤字団体をならないようにした。それが3年間ぐらいもちそうかどうか。

答弁 今回は学校用地の整備のために限度額まで起債を起したので、その分の歳入が見込めた。あくまで行政の中での財務管理上の結果。

議員と表現の仕方は違うが、借入金を起こすことで、町の通常の資金繰りといった事業経費の支弁等々をやったうえで、なお一定の剰余金が出たということ。

質問 結果として、借金で4億8000万円の財源を生み出した、この手法、認められると

いうことでしょうか。

答弁 学校事業整備事業債という制度の事業メニューであり、県とも協議したうえでのもの。9月頃に県の同意があれば借入作業に入っていく。



質問 今回、借金で生み出した財源が4億8000万円。当初予算の未確定財源が4億7000万円。通常、決算では不用品があることから、今年度の実質単年度収支は2億円以上の赤字とみているのか。

答弁 今年度単年度収支について、現時点では1億9900万円程度の黒字見込み。

質問 借金返済期間の延長も含めて、当面、赤字団体転落は回避できても、毎年の借金返済額が4年後から11億円台が長期間続く。住民説明会でも町財政に対して厳しい意見が出ている。今回の手法について住民合意が得られると考えているのか。

答弁 今後の財政見通しでは平成33年度以降にまた厳しい状況が発生する。借金返済が高止まりするのも事実。内部改革を中心に行政事務改革を進めながら財政の健全化を図りたい。

質問 新たな借金や償還期間の延長で利払いがいくら増えるのか。

答弁 文化センターが通常20年を30年に、学校債は25年で金利1%での試算では1億1000万円程度になる。

質問 今回、庁舎用地の購入も入っているが、今後の財政見通しから見て建設の目的が立たない。撤退する勇気ある決断も必要では。

答弁 庁舎建設が10年、もつと先になる可能性もないともいえないが、駅周事業の完結、公共施設の駅前での一体的な利用から、今の計画で進めたい。

質問 駅周事業に関わって入るとしている清算交付金5億7011万円の予算は執行せず、その町有地分を駅前の文化センター、将来庁舎用地の換地にあてるべき。そうしなければ町は3億から4億円の損をする。

答弁 文化センター等に換地する手法は可能だが、事業地内に点在する町有地の減歩率の違いもあり、精査しないと確かなことは言えない。

質問 文化センター用地は清算交付金をもらわずに換地する

のが一番ベター。そのことを精査しているなら、今回の補正予算の駅前開発に関する予算は執行する前に議会の全員協議会を開いてほしい。

答弁

駅周組合と十分協議し、その結果を全員協議会で報告する。それまでは駅前の分は執行しないと約束する。

質問

執行するかどうかわからないなら、その部分を外して議案を出しなすべき。

答弁

歳出の小学校の用地買収費並びに扶助費等々の執行が喫緊なもの。反面、歳入は時間的余裕もあるので、換地手法による換地計画を組合とも早急に協議をして、その上で議会に説明を行わせていただき、執行については慎重に意を払って執行させていきたい。

質問

歳出も繰出金などが関係する。今回計上している庁舎用地買収費についても執行するかどうかわからなくなったわけだから、それらの部分も組み替えしなければ議員として判断のしようがない。

答弁

提案している以上はこの補正でいきたい。先ほど出された疑義については精査して別途報告する。修正とか出し直すとかは全く考えていない。

質問

文化センターの施設内容について、住民から様々な意見が出された。見直す考えはあるのか。

答弁

様々な意見はあるが、今まで説明した計画通りに取り組んでいく。

動議

質疑終結後、「本補正予算については、一部、執行しなくなる可能性があり、凍結するということなので、本日は採決せず、継続審議にすべき」との動議を提出されました。

これを受けて、「継続審議」について採決した結果、賛成少数で否決になりました。

反対討論

執行を凍結する部分について



は基本的に外して、すんなりと今執行すべき部分についてだけ補正予算として上程するのが行政として本来のありかた。その点について、町がかたくなにそれを断る理由が理解できない。そのことについては強く抗議したい。

賛成討論

今回の補正は、借金で4億8000万円の財源を確保し、赤字団体転落という状況を脱するためのもの。しかし、駅周事業の債務保証や町有地売却が予定通りいかなければ3年後の2022年度にも赤字団体に陥る。また、ツケを将来に先送りするもので根本的な解決にならないばかりか、財政危機をより長期化するものであり、反対する。執行を凍結する部分がある中

町有地3700坪を文化センター用地に換地することで厳しい財政状況が軽減ができる。このことを町長には理解をいただいた。早急に組合と協議し、全員協議会を開催して決定していくとの答弁をいただいた。この予算には賛成する。

平成30年度用地先行取得事業特別会計補正予算

庁舎用地取得の予算措置で、取得額は1億9500万円。うち70%の1億3650万円は起債、30%の5850万円は一般会計からの繰り入れで賄うも

の。

主な質疑

今回の起債の償還の金利はいくらか。一般会計補正で提起された町有地をあてがうことになる可能性もあることから、当然、しばらく執行しないということではないか。

答弁

この起債はあくまでつなぎ債ということで償還期間は10年。据え置き期間がなく、翌年度からの10回払い。金利の照会はまだやっていない。

執行については、換地計画を再度検証し、議会に説明したあとに執行することになる。

反対討論

財政が非常に厳しい中、いつでもともわからない庁舎の用地を7割借金で取得するというのはいかなるものか。また、先ほどの議論の中で町有地を活用することで、買う必要がなくなるかもしれないという可能性も残されているということから、本補正予算には反対する。

次頁へ続く

駅前の文化センター周辺の用地について、庁舎用地としても取得をしていかなければならないということは、駅周辺整備事業に鑑みても一定理解をしているが、先ほどの一般会計補正予算で述べたように、一定、清算地についての不明瞭な、理解できない部分がある以上、この特別会計補正予算については、賛否に値しないということで反対する。

賛成討論

庁舎並びに文化センター・図書館が一つの敷地の中にあることで利便性が向上し、そして駅前開発との相乗効果アップのためにもこの予算は計上すべきことから賛成する。

この用地先行はいろいろな角度から見てもやらなければならぬこと、また、ステップアップで物事やっていかなければならないの思いから賛成する。



議員提出議案

平群町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について（否決）

提出者	山口 昌亮
賛成者	植田 いずみ
	稲月 敏子

同意

公平委員会委員

浦野 育三 氏

平群町初香台



浦野育三氏を公平委員会委員に選任することを全会一致で同意しました。

議会の動き

議会運営委員会

5月21日

*平成30年平群町議会第4回定例会の議会運営について

全員協議会

4月6日

*（株）PLANT開発概要について

5月18日

*（仮称）平群町文化センター・図書館建設後の財政見通しについて

6月27日

*平群駅周辺整備事業における町有地の換地シミュレーションについて

公共交通対策特別委員会

6月25日

*コミュニティバス運行事業の報告及び計画について

ご意見お寄せください



本紙へご意見をお寄せください。今後の紙面作りに活用させていただきます。

*FAX 49-0145

*メール gikai@town.heguri.nara.jp

文教厚生委員長報告

去る6月5日に開催された平群町議会第4回定例会の本会議において、文教厚生委員会に付託を受けた、発議第5号「平群町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について」、6月7日に当委員会を開催して審査しました。

その審査内容と審査結果を報告します。

平群町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

この条例は、平成29年度に国保税を大幅に引き上げた結果、収支が予測と約3億円の乖離が生じ大幅に改善し、約3000万円の黒字になったことから、国保税を引き下げるものです。

主な質疑

平群町の平成30年1月末時点での国保被保険者数は5028人。しかし、県は平成29年10月の5099人を基礎にして納付

金を算定。加入者1人あたりの負担が相対的に高くなっている。町から県へ是正を求めてもられたと思うが、県の見解について質され、県の回答としては、平群町だけの是正はできない。要望には応えられないとの答弁がありました。

平成29年度的大幅引き上げにより、国保税の納付率は変化があったのか質され、27年度は98・56%、28年度は98・17%、29年度は整理中であるが97・5%と収納率は下がっているとの答弁がありました。

国保会計の町の予測と実際と



で、3億円もの乖離が生じている事について町長の認識を質され、医療費の予測を間違えたのではなく、予測を最大限に見積もった上で、最悪2億5000万円の赤字が出る可能性をなんとか防がなければならぬと考えていた。赤字がいくらかでも解消できればいいなと言う期待は当然持っていたとの答弁がありました。

本発議が可決された場合の町の負担について質され、試算段階でまだ見えてこないが、退職者を含めて6000万円程度の乖離が生まれるとの答弁がありました。

本年度から県の裁量になったが、33年度までは現行税率のままで見直しをしないのかと質され、県の方針では3年で、必要があれば見直しをするとしている。医療費が高騰し、今より推計が大きく変わることも懸念されるとの答弁がありました。

反対討論

平成29年度決算で約3000万円の余剰金が生まれた。これを基金に積み立てることで、将

来、県への納付金が変わった場合でも柔軟に対応できることから、本発議には反対するとの討論がありました。

賛成討論

昨年の国保税の大幅な引き上げが住民にとって大変な負担になっている。県の統一化の際の

料率からみても、平群町は高い。暮らしにくい町というイメージを払拭するためにも本発議には賛成するとの討論がありました。

採決の結果、発議第5号は、挙手少数で否決すべきものと決定しました。

文教厚生委員会

委員長 井戸 太郎

町議会をネットで傍聴できます



平群町議会は、本会議の様様をインターネットで平成26年9月議会から録画配信しています。町のホームページからアクセスできます。

町政を問う! 一般質問一覧

馬本 議員	1.町有財産の公売評価額の決定について 2.町道平群駅前東線及び踏切拡幅について 3.矢田山に（仮称）東西線道路を 4.前町長との組合基本協定について 5.公共交通空白地域解消へ	城内 議員	1.介護保険について 2.（仮称）文化センターのテラスについて
		山本 議員	1.高齢者運転免許返納後の移動手段として
山田 議員	1.生駒駅発近鉄最終電車を難波発最終と連絡を 2.観光振興・ハイカーの為にトイレ設置を!	窪 議員	1.「亀田川駅の早期バリアフリー化」と「マスタープラン（基本計画）の策定」を 2.「新生児聴覚検査」と「産婦健康診査」に公費助成の導入を 3.特別支援教育における「デジジー教科書等音声教材の活用」を 4.中学校図書館に専任司書の配置を 5.福祉有償運送事業（移送サービス）のさらなる充実を
井戸 議員	1.平群町が所有する土地の売却計画について 2.コミュニティバスがない地域の公共交通の現状について 3.平群町役場の移転はいつ?		
高幣 議員	1.子育ての町をPR、町外から平群へ移住を 2.平群駅前のロータリーの便利さを	山口 議員	1.地域活性化の一助「軽トラ市」開催の具体化を 2.国道168号の森脇橋以北の歩道設置と安全対策について 3.若井火葬場撤去事業について 4.榎原の農地への土砂等不法投棄の早期改善を
稲月 議員	1.延長保育料の引き下げを 2.病児保育の実施にむけて 3.再開したメガソーラー建設について		
植田 議員	1.学童保育の充実について 2.平群町でも学習支援事業の拡充を	下中 議員	1.平群町第5次総合計画の見直しについて 2.健康長寿奈良県1位を目指して 3.音楽のまち平群を

町道平群駅前東線及び踏切拡幅について



馬本 隆夫

質問

「現在の、平群駅北側踏切からバイパスまでは、狭く危険な町道であり、ます。駅前が完成となれば、今以上の交通量増となり、早急に拡幅すべきである。」と、過去5回の一般質問をおこなってまいりました。

平群駅前東線道路は、延長約200m、幅員3.1mを、車道5m、歩道2mに拡幅計画され、交通量等の実施調査や、予備・詳細設計、不動産鑑定評価、一部用地取得、踏切部予備



設計等が執行されてきました。今後は、踏切道に歩道が新設され歩行者の安全は定確保されます。しかし、踏切道の車道幅員は

現状の3.1mで車1台しか通行できません。今後、踏切周辺で交通渋滞や事故等が予想され、車道幅員も早急に拡幅すべきであります。

今後の踏切の車道及び歩道整備についての見通しをお聞かせ下さい。

答弁

歩道整備を早期に完了させる事が最優先課題であり、関係地権者と合意形成が図れるように交渉を行ってまいります。又、踏切内の車道拡幅については今後の課題として鋭意努力してまいります。

生駒駅発近鉄最終電車を 難波発最終と連絡を



質問



山田 仁樹

利便性、若い世代の定住促進の一つとし平成15年の議会で質問し15年。当時近鉄は『終電延長は線路の保線、車両等の整備、労働条件等の問題で非常に困難』との残念な回答、以後議会で6回質問、その間生駒線は平成16年ワンマン運転、25年駅員の無人化等経費節減を実施された。

昨年の法面崩落事故による徐行運転に伴い、現在便数減少となっているが、生駒発王寺行終電が23時57分発と3月のダイヤ改正により21分も遅くなり難波23時25分発奈良行急行、生駒23時48分着でも王寺行終電に乗り乗可能となった。今後も23時55分発奈良行最終区間準急0時24分生駒着でも王寺行に連絡があるよう、協議要望頂きたい。

①法面崩落事故による現在の20分毎運行を15分毎運行に戻す目途は？

②終電が21分も遅く運行頂いているが町要望に対応頂いた結果なのか？

答弁

①『復旧の目途は決定していない。本復旧後に15分毎運行に戻すことは未確定である』との事。15分毎運行に戻して頂くよう協議していく。

②これまで粘り強く協議してきた。近鉄の条件が整った為と聞いている。

公共交通の現状について

質問



井戸 太郎

私の近所の方々の引越しが相次いでいる。交通手段がないことが理由。ここは番近くのバス停までの距離が約500〜700m。しかも急な坂。しかし、コミバス等導入なし。公共交通は平群全体の問題、課題になっている。平群町の多くの場所での移動が厳しい地域が存在する。すべての調査はできないので、とある地域に着目し、主要な施設までの移動経路、手段について、お聞きしたい。



※とある地点を今回はローズタウン若葉台自治会館とする

※免許証返納者は主に高齢者。膝、腰の痛み等あることを考慮

①平群町役場(各種手

答弁

①1番近い路線バスは平群駅方面に行かないので、次に近いコミバスの中学校バス停まで徒歩600m。コミバスで町役場へ

②徒歩600m、コミバス中学校〜平群駅へ

③徒歩600m、コミバス中学校〜中央公民館乗り換え〜総合スポーツセンター(健康維持等)

④かしのき荘(選挙の投票所)

続き)②仮称平群駅前文化ホール③総合スポーツセンター(健康維持等)

④かしのき荘(選挙の投票所)

平群駅前ロータリーの 便利さを



高幣 幸生

質問

平群駅前開発工事は残すところ1年です。最近の平群駅前での町の声では「道路は良くなっているね。でも、駅前ロータリーはどうなっているの?」「農協平群に行こうと思うたら、ロータリーは駅前でストップ?」「駅前はどうから来ても動けるのが一番」こんな会話の駅前です。



答弁

本事業は多額な経費を考へ良好で町の活性化と健全な市街地、公共の福祉、活力ある町づくりを考え、基本協定を見直して下さい。大きな町の出費がある基本協定書を見て欲しい。町は10年後を目指し駅前をどうするかのアングレートを2〜3年をかけてでも、平群駅前を再検討しては。

駅前ロータリーが完成し、駅舎前は歩行者専用道路となり、一般車はロータリーに進入禁止となった。

これは、県や警察の協議で、大型や一般車は進入するのは、交通安全の観点から認められない為、進入禁止の措置を行った。

又、駅舎前も一般車両等は進入禁止看板の設置です。19年1月の町と組合の基本協定は事業の終了段階を鑑み、見直しは考えていない。アンケート調査等は考えたい。

延長保育料の引き下げを



稲月 敏子

質問

4月から大幅(6倍)に引き上げられた両こども園の延長保育料。働く子育て世帯に大きな負担、保護者の「納得できない」という声は行政を動かし、第3子については無料、第2子は半額と、多子減免を実施し、多子世帯への負担軽減は一定の評価はできる。しかし、1人だけの延長保育利用世帯にとつては大きな負担。また、第2子・3子でも子ども園以外に就園や就学する場合は該当なし、低所得世帯の

負担の減免(生駒市では減免)もなし。若い世帯の就労応援、子育て応援施策の後退は明白。

本町が現在、延長保育時間と設定している7時



答弁

第2次財政健全化計画にかかげた施策。

延長保育料は近隣町と比較して同額または、安価で、一か月料金の上限設定や多子減免を実施している。低所得世帯については保育料そのものが安価であり考えていない。

延長保育時間帯は11時間を超える部分を設定、変更する考えはない。

学童保育の充実について



質問



植田 いずみ

学童保育を利用する児童が年々増加している。30年度5月末現在、平群学童1と2の定員合計100人に対し74人、北学童60人に80人、南学童60人に61人です。また低学年の割合は、68%〜75%と高く、出席率も前年度を10%ほど超えている。ガイドラインは、集団の規模はおおむね40人程度までが望ましく最大70人までとしている。しかし、北も南も40人を超え、北では、最大の70人も超えている。保育室面積も国基準1人当たり1・65㎡以上に対し、平群学童(①7・1㎡、②9・1㎡)、北学童1・7㎡、南学童2・8㎡、指導員数も平群①37人に4人、北は80人に5人と大きな差があり早急な対応が必要で。

また平群学童の出入口付近は、地面が未舗装のため、部屋が汚れるなどから舗装対策など、早急な改善を求めます。

答弁

北学童の狭あいな状況は認識している。保育室の拡充については、今年度中の早い時期に学校現場とも協議し、来年度には対応していきたい。また平群小の出入口の改善については、現場を確認し改善策を講じる。

(仮称)文化センターのテラスについて

質問



城内 敏之

文化センターについて、容認してくださっている方々からも、テラスについてに疑義を唱える方が多くありました。

一部了解しながらも、やはり疑問点もあるので、質問させていただきます。

①一階部分に必要な面積を得るために、屋根のないテラスという工夫があったのか。

②陸屋根にして、屋根のない部分を作れば、経費の面で削減はできないのか。

③部屋数が少ないのは、規制のためなのか。



答弁

①施設の平面計画として、補助金(起債)の枠組み上、延床面積に制限がある中で、貸館とは別に、予約なしで自由に使える空間を創出するためのテラスです。これによって、室内面積が少なくても開放感のある部屋や研修室となります。

②大きな屋根の吹抜け部分から伝わる賑わいがよい臨場感を生み出します。屋根の構造は、経費に十分配慮しています。

③皆様のご意見をできるだけ取り入れて、中央公民館と同数の部屋数となり、合理的・多様なご利用が可能と考えています。

高齢者運転免許返納後の 移動手段として



町内の高齢者運転免許返納者数はH27年で60名、H28年で60名、H29年で66名、H30年4月末で26名であり、少しずつ増加しています。

高齢者交通安全支援自治体である平群町では、運転免許証を自主返納された高齢者に対して、コミュニティバス回数券5

質問



山本 隆史

千円分、もしくは奈良交通・エヌシーバス路線で使用できるICカード5千円分を1回限り交付することになっております(要申請)。

鉄道駅や路線バスの停留所がご自宅の近くにない地域、地形勾配が急で駅や停留所からの高低差が大きい地域など、既存の公共交通機関を生活移動手段として利用することが困難な地域、いわゆる公共交通不便地域の住民さんが主体的に運営する輸送手段として、コミュニティ交通を導入しては?

答弁

基幹の公共交通である近鉄電車・路線バス・タクシーの補完的な交通政策として、一部を運行することについては、可能性があります。また、地域の方々が主体となり事業が形成されるので、協議会等設立し、陸運支局の許可が必要です。

竜田川駅のバリアフリー化と 基本計画策定を

質問



窪 和子

少子高齢化に伴い、高齢者や障がい者が円滑に移動できる社会をめざす「バリアフリー法」が5月18日、12年ぶりに改正しました。

町の5月末現在の高齢化率は37.1%と進捗し、町全体のバリアフリー化をさらに進めるマスタープラン(基本計画)の早期策定が必要と考えますが、いかがお考えでしょうか。

また「竜田川駅に簡易なスロープ設置による早期バリアフリー化を求め

る署名活動」が展開されておりますが、3月議会での答弁で近鉄から「簡易なスロープ設置によるバリアフリー化は可能である」と回答を頂きました。



利用者の願いにお応えするため、二日も早いバリアフリー化の実現が必要と考えますが、町の考え方についてお尋ねいたします。

答弁

①マスタープランの必要性は十分認識しているが、制度について理解を深めるため調査研究させて頂きたい。

②町としては竜田川駅全体のバリアフリー化の一日も早い対策が必要と認識しており、できる限り早い段階で対策が進むよう今後も引き続き近鉄と協議を進めてまいります。

国道168号の森脇橋以北の 歩道設置と安全対策



質問



山口 昌亮

国道168号、森脇橋から旧南都銀行までの歩道の設置は長年の課題。県事業だが通勤・通学をはじめ多くの近隣住民のみなさんが利用されていることから、町も歩道設置などの安全対策の必要性は早くから認識し、対策に取り組んでいるが、駅周事業とのからみや地積混乱などもあると

答弁

いうことで、いまだに実現に至っていない。見通しはどのようになっているのか。
同時に、歩行者の安全対策として、早急に歩行者用の信号機や横断歩道を設置すべきだが、その対策はどのようになっているのか。

一部、用地買収も完了しているが、広範囲の地図訂正や未相続による権利者の特定などで歩道設置が遅れている。駅周事業で未整備区間に隣接する道路が整備されたことから、当該地の歩道設置は急務と考えている。地図訂正等の作業を引き続き進め、県にも早期設置を強く要望していく。

信号機や横断歩道設置はハード面の整備が条件で歩道整備とあわせる必要があるため、用地買収も予定している。県とも協議して迅速な対応に努める。

健康寿命奈良県1位 を目指して

質問



下中 一郎

住民の健康づくり運動である「第2期健康へぐり21計画」に基づき、様々な事業が実施されていきます。高齢化が進む中、人は誰しもが、健康で長生きしたいと思うのは、至極当然のことであり、本人の努力とともに社会全体で支えていくことも大切なことです。

本町では、健診を受けて伸ばそう健康寿命という健康長寿のスローガンを掲げて、多くのヘルスボランティアの方々と協

働して、住民の健康づくりに多様な実践活動が展開されていますが、より一層取り組みの推進を求めます。



答弁

さらに住民の健康増進を進めていくうえで、様々な角度からのデータの蓄積や分析も大切であり、大学や生命保険会社との共同研究を進めていくべきと考えるが。

健康診査の受診結果に基づいて保健指導を実施しており、その事業評価や分析において奈良県立医科大学に協力を頂いています。また、健診のPRには町内のスパーにも協力を頂いており、大学や民間企業とのコラボ事業は、健康づくりのすそ野を拓げるものであり、今後も鋭意研究して参りたい。

町 の 話 題



リラックスして絵本の世界を楽しむ子どもとワンちゃん



ワンちゃんはとっても聞き上手!!

わんちゃんに絵本を読み聞かせる

わんどく in 平群

犬に絵本を読み聞かせることで子どもたちに読書を楽しんでもらう取り組み「わんどく!」が7月1日・15日・22日の全3回、平群町中央公民館で行われました。県と町立図書館が企画し、町内の小学生たちが3回合わせ、のべ26名参加しました。

た。参加した子どもたちは、まずわんちゃんに挨拶をし、仲良くなると、用意された数十冊の絵本から気に入ったものを選んで優しく音読。犬の背中をなでながら犬と絵本の世界を共有し、楽しいひと時を過ごしました。

犬は黙ってじっと聞いていました。なぜ犬に読み聞かせをするのか?それは犬が「聞き上手」だからだそうです。「読書介助犬」と呼ばれる犬に読み聞かせを行う取り組みはアメリカで生まれ「R・E・A・D

プログラム」と呼ばれています。

「読書介助犬」はうまく読めなくても、笑ったり、間違いを指摘せず、静かにそばで聞いてくれるので、音読が苦手な子どもたちでも犬とリラックスしながら、読み聞かせの時間を楽しみ、識字やコミュニケーションの力を伸ばすことができます。

今回「読書介助犬」として人との触れ合いなどの専門訓練を受け、アニマルパーク(宇陀市)に登録されているゴールデンレトリバーやラブラドルレトリバーなど5頭が来てくれました。

子どもたちは『犬がおとなしいので楽しく読めた。今まで読むのが恥ずかしかったけれど楽しく読むことができた』と感想を聞かせてくれました。

町立図書館では既存の形にとらわれず、子どもたちの読書のために様々な企画をされておりま

(窪 記)

編集後記

大阪北部に直下型地震が発生。お勤め先や、ご親戚、ご友人に被害はございませんでしたか、お見舞い申し上げます。初めての編集会議。掲載記事の概要が決まり、各担当記事が割り当てられ、会議は終了。

議会だより編集委員が初めての私に編集後記の執筆の指示を受けました。光栄なことではあるが、いいのかなとも思いました。

書くべきことを思いつかぬ間に、先日の地震です。平群ではどうなるか。

生駒と矢田丘陵の古い断層に挟まれて、斜面の崩壊と、旧大字の大きな屋根の屋敷群、それにブロック塀に囲まれた家など危険がいっぱい。

一度広い範囲の人たちで話し合える場があればと考えました。

城内 記